

研修のご案内

■IMEの研修

IMEでは、製造業のコンサルティングや中小企業大学校の経営管理者コースおよび工場管理者コースのゼミなどの為に開発した技術、作成した資料などをテキストにまとめて、研修を提供しております。

■研修シリーズの構成

主に製造業向けのテーマの研修をご用意しております。

同じテーマでも 経営者の考えるべき事、管理者がするべき事、実務者が行う事・・・など、会社の役割分担によって異なる知識・考え方が必要です。

そのため 多くのテーマは、「経営層」「管理層」「実務層」「技術者・専門職」むけの各研修で構成しています。

■外部研修の利用は計画的に

人材育成には多くの時間とお金がかかります。人材育成や技術の導入・定着のために受講する研修は、テーマ、対象、時期・期間などを経営戦略・経営計画などに基づいて選択することが望まれます。

多くの会社では、社会や受注の変化、新製品開発や新市場開拓などに対応するためには、考え方・やり方を変化させる必要があります。また、組織体制が古くなっている会社が見られます。特に管理職が育っていない(機能していない)会社は数多くあるようです。

教育・・・行き当たりばったり？ 外部任せ？ 戦略に基づく計画性が必要では？

本来、育成・教育は、社内で上司・先輩が部下・後輩に行う事が基本であると考えられます。しかし、近年は実務者の外部研修に力を入れて、経営層や管理職は研修受講を避け、部下の指導・教育もできていない傾向があるようです。教育が行き当たりばったりや単なる外部任せではなく、計画性をもった、体系的・効率的な教育が必要であると考えられます。

■研修のお勧め

弊社では 各研修テーマで、役職ごとの研修を用意し、セットで受講される事をお勧めしております。


さらに、研修(講義と演習)に、自社診断やゼミナールによる課題研究を付加した実践をとまなう研修形態をご提供しております。

もし「研修+ゼミ」でも不足であれば、その先に「コンサルティング」があると考えております。

経営は会社全体で取り組む団体戦です。研修も 全社での お取組みが 理想ですので、経営者、管理者の皆様に、研修シリーズをセットでご利用いただき、「経営層」→「管理層」の順で、出来るだけ多くの皆様に受講していただくことを お勧めいたします。

各階層で共通認識の下で、お会社の最適な方法・仕組みについて、お考えいただき、利益確保につなげていただければ幸いです。

受講形態・構成の問題	戦略的 計画的 受講	個々の理解・応用力、 組織の管理・改善能力 が高ければ有効		経営革新や業務の体系、やり方の見直しなどに有効
	セット化 受講 (体系受講)		問題点の把握と 確実な管理・改善が 必要な時に有効	
	単科 受講 (単発受講)	免許・資格取得など 個別対応や緊急性の あるものに有効		課題・問題が明確で、 確実に対応したい場合 に有効
		研修 (講義+演習)	研修 + 自社診断	研修 +ゼミナール

 株式会社IMEコンサルティング
東京都大田区蒲田

お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。
[\[お問合せ\]](#)

研修のご案内 「研修一覧」

製造業のコンサルティングや 中小企業大学校でのゼミナールなどで 様々な技術テーマを開発し、研修化しました。弊社で作成した研修で 特にご相談・お問合せの多い研修についてご案内いたします。

分類 (研修シリーズ)	研修名	主な対象	基本日数
経営研修	「経営戦略立案研修」	経営者、工場長など	2日
	「経営管理の仕組み」		2日
	「経営管理の仕組みの自社診断研修」		3日
成長戦略・製品戦略研修	「成長戦略・製品戦略と知的資本経営」	経営者、工場長など	2日
	「新製品・新事業開発研修」		2日
変化対応の為の 今後の生産体制整備研修	「今後の人材・設備の考え方」	経営者、工場長 管理者、第一線監督 実務者、若手社員等	1日
	「管理職の基礎知識」		2日
	「実務者が身に着けるべき仕事の基本」		2日
生産技術研修	「多品種少量対応、フレキシブル生産システム」	経営者、工場長、管理者、生産管理担当など	1日
	「短納期対応のコンカレント生産と在庫削減の考え方」		1日
	「機械化・自動化・スマート化と人材育成」		1日
原価マネジメント研修	「製造原価の管理・改善・革新マネジメント」	経営者、工場長 工場長、工場管理者 工場長、工場管理者	3日
	「原価管理システムの構築」		2日
	「儲かる売価、儲ける原価」		2日
生産管理研修	「生産管理システム」	経営者、工場長 工場管理者 管理者、第一線監督者	3日
	「生産管理の基礎」		2日
	「生産管理の考え方」(入門編)		1日
課題問題解決研修	「経営課題・問題の解決・管理」	経営者、工場長 工場管理者 管理者、第一線監督者 第一線監督者、実務者	1日
	「課題解決、問題解消、管理の基本」		2日
	「製造現場の問題解消」		2日
	「生産実務の問題発生防止」(入門編)		1日
現場改善、IE・QC技法研修	「QCの基礎」	管理者、第一線監督者 管理者、第一線監督者 管理者、第一線監督者	1日
	「QCの基礎と自社診断」		2日
	「5SとIE改善」		2日
ヒューマンエラー、ポカミス研修	「会社のリスク、ヒューマンエラーマネジメント」	経営者、工場長 工場管理者 管理者、第一線監督者	1日
	「ヒューマンエラー、ポカミスの対策と予防」		3日
	「実務のエラー、ポカミス対策」		1日
人材育成・技術技能伝承研修	「人材育成・技術技能伝承システム」	経営者、工場長、管理者 管理者、第一線監督者	2日
	「現場力を高める OJT」		1日

※ 各研修の日数(時間数)は、ご要望により調整可能です。

●研修のセット化が有効かつ、お得です

課題・問題等は、会社全体で一丸となって取り組まれる事が望めます。研修をセット化し、各階層で職務権限や役割分担に応じた研修をそれぞれに受講し、同じ方向性・言葉で取り組むと効果が倍増します。また、関連するテーマの選択で、展開的に研修を選択することも有効です。


●研修に「自社診断」or「ゼミナール」を付加できます

上記の研修に、研修内容に応じた「自社診断演習」または「ゼミナール(課題研究)演習」を付け加えることができます。学習によるレベルアップと実践効果が得られ、受講者の経営への参画意識、モチベーションなども醸成されます。ご興味がございましたら、お問合せください。

●研修のカスタマイズ、新規作成

研修内容等は、ご要望に応じてカスタマイズが可能な場合がありますので、ご相談ください。

上記にない研修でも実施しているものがあります。必要な研修テーマがございましたら、お問合せください。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問い合わせ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。 <div style="text-align: right;">[お問合せ]</div>
---	-----------------------------	--

研修のご案内 「研修の概要」

製造業のコンサルティングや 中小企業大学校でのゼミナールなどで 様々な技術テーマを開発し、研修化しました。弊社で作成した研修で 特にご相談・お問合せの多い研修についてご案内いたします。

●経営研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
経営戦略立案研修	経営戦略に必要な情報収集、ビジョン、経営目標の考え方について学び、事例などを通して戦略を立案する手順やポイントを総合的に理解します。	経営層、後継者 工場長など	2日 (6h×2)
経営管理の仕組み	経営計画実現のために、経営(組織)管理の考え方を学び、有効な経営(組織)管理体制の整備に寄与します。	経営層、後継者 工場長など	2日 (6h×2)
経営管理の仕組み 自社診断研修	経営(組織)管理の考え方を学び、演習で自社の経営(組織)管理体制の見直しを行います。	経営層、後継者 工場長など	3日 (6h×3)

●成長戦略・製品戦略研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
成長戦略・製品戦略と 知的資本経営	会社の成長を戦略的・計画的に進めるためには、製品戦略・販売戦略とともに知的資本経営を指向する必要がありと考えられます。	経営層、後継者 工場長など	2日 (6h×2)
新製品・新事業開発	会社を維持・成長させるために新しい収入源として新製品・新事業などの開発を体系的に考えます。脱下請け、生産の自主調整など可能性があります。	経営層、後継者 工場長、管理層など	2日 (6h×2)

●変化対応の為の今後の「生産体制整備」研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
今後の 人材・設備の考え方	今後は工場の機械化・自動化・スマート化(IoT, AI, ロボット化等)が望まれます。この研修は今後の人と設備の役割分担を考え、設備導入・人材育成の根幹である「トップの意思」に関する方向性の提示の提供を目的としております。	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長	1日 (6h×1)
管理職の基礎知識	多くの企業で管理職が育っておらず、管理をしていない状況が見られます。この研修では、管理職の役割の自覚を醸成し、管理について学び、考え、実践検討していただきます。	[管理層] 部長、工場長 課長	2日間 (6h×2)
実務者が身に着けるべき仕事の基本 (若手・新人研修に利用できます)	実務者の皆様に、会社での生産活動の基本、会社での自分の役割、やるべき事などの基本について学び、考え、自覚の醸成、実践検討をしていただきます。	[実務層] 実務者 (第一線監督者、係長含)	2日間 (6h×2)

●生産管理研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
[経営者・工場長向け] 生産管理システム	経営環境の変化に応じた最適生産システムの考え方について学びます。	経営者 部長・工場長	3日間 (6h×3)
[工場管理者向け] 生産管理の基礎	生産管理の仕組み、原価・品質・納期・在庫などの管理・改善、管理の実効性などについて学びます。	管理職 生産管理担当	2日間 (6h×2)
[工場管理者向け] 生産管理の考え方 (入門編)	生産管理は、どのようなものなのか、何をするのか等の概念を知り、共通認識を得るための入門研修です。	管理職 生産管理担当 (第一線監督者)	1日 (6h)

●生産技術研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
多品種少量対応 フレキシブル生産システム	多品種少量生産では、段取比率が高まり、作業量のバランスが常に変化するためコストが上がります。職人・単能工と多能工を使い分けなどを考える研修です。	部長・工場長 生産管理責任者 管理職	1日 (6h)
短納期対応の為の コンカレント生産と 在庫削減の考え方	短納期生産の為には、受注引合から出荷・納品までの期間を縮める方法について、作業の同時並行化、保管・停滞短縮、工程時間短縮、在庫の持ち方等を考えます。	部長・工場長 生産管理責任者 管理職	1日 (6h)
機械化・自動化・スマート化 と人材育成	設備投資と人材育成は時間と費用がかかります。製品戦略・販売戦略に基づき、将来の人と機械の最適組合せを考えて、計画的に進めることについて学びます。	経営者、後継者 部長・工場長 生産管理責任者	1日 (6h)

●原価マネジメント研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
製造原価の 管理・改善・革新 マネジメント	今後の受注環境・生産形態に適した原価の改善・管理活動、原価革新の考案などの原価マネジメントについて学びます。	経営層、後継者 部長、工場長 原価の管理職	3日間 (6h×3)
原価管理システムの 構築	材料や生産方法の変化などに対応するために、原価管理の仕組みを見直して、適切な管理・改善活動をシステムチェックに行う事を意図して構成しております。	部長、工場長 課長 原価管理担当者	2日間 (6h×2)
儲かる売価、 儲ける原価	受注前又は生産する前に原価見積りを行い、目標原価を算出して赤字製品にならない様に事前のコストダウン計画をたてて受注又は生産を決定する事を考えます。	部長、工場長 課長 原価管理・改善 の担当者など	2日間 (6h×2)

●会社の課題・問題の解決・解消研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
経営課題・問題の 解決・管理	「経営環境の変化にともなう課題・問題の対応は、できていますか？」経営の課題対応や各種問題の発見・解決・解消の取組みについて学びます。	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長	1日 (6h×1)
課題解決、問題解消、 管理の基本	「管理していますか、課題・問題を見つけて対処できていますか？」業務における課題・問題の発見、対応・改善、管理を学び、管理体制を見直します。	[管理層] 部長、工場長 課長	2日間 (6h×2)
製造現場の問題解消	「現場で発生する問題点の発見・改善・指導は、出来ていますか？」業務における問題の発見、対応・改善、管理・指導要領を学びます。	[管理・改善担当] 課長、第一線監督者 改善担当者	2日間 (6h×2)
生産実務の 問題発生防止 (入門編)	「生産活動において、問題を見つけて対応できていますか？」会社の実務で発生する問題の発見・解決の活動について学びます。	[実務層] 第一線監督者 実務担当者	1日 (6h×1)

●現場改善、IE・QC 技法研修

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
QCの基礎	会社の売上、利益と、お客様の満足を両立させるために、実務にける顧客満足の理解、品質改善の考案と実行の考え方と方法学びます。	[管理・改善担当] 課長、第一線監督者 改善担当者	1日 (6h)
QCの基礎と自社診断	会社の売上、利益と、お客様の満足を両立させる為に、実務にける顧客満足の理解、品質改善の考案と実行の考え方と方法学び、チェックシートで自社診断を行い自社の品質活動を見直します。	[管理・改善担当] 課長、第一線監督者 改善担当者	2日 (6h×2)
5SとIE改善	ムダ、ロスなどを体系的に改善する5SとIEの手法を身に付けて、より効率的な生産活動の実現を目指します。	[管理・改善担当] 課長、第一線監督者 改善担当者	2日 (6h×2)

●ヒューマンエラー、ポカミス防止シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
会社のリスク、 ヒューマンエラー マネジメント	経営環境の変化にともない、ヒューマンエラーが増加しています。会社で発生するヒューマンエラーの発見・解決・解消の取組みについて学びます。	[経営層] 経営者、後継者 部長、工場長	1日 (6h)
ヒューマンエラー、 ポカミスの対策と予防	「ヒューマンエラー、ポカミスが繰返されていませんか？」現場のエラーは指導・監督、管理活動不備が最大の問題です。管理職の対応・改善・予防などを学び、管理体制を見直します。 [最も重要です]	[管理層] 部長、工場長 課長	3日 (6h×3)
実務のエラー、 ポカミス対策	現場のポカミス等は当事者への指導・監督と環境整備による対応が必要です。ポカミスの発見、対応・改善、管理・指導・OJT等の要領を学びます。	[指導監督者] 課長、第一線監督者 改善担当者	1日 (6h)

●人材育成・技術技能伝承研修シリーズ

研修名	主旨・概要	対象	基本日数
人材育成・ 技術技能伝承 システム	人材育成には多大な時間とお金がかかります。今後の経営や取扱製品、生産形態等に応じた必要な能力要件を見極めて、計画的な人材育成を行う事を考えます。	経営者、工場長 管理者	2日 (6h×2)
現場力を高める OJT	日常業務の遂行や現場の品質や安全、効率化などの問題解消、人材育成や新しい技術導入などを行うには、指導監督者のOJTが重要です。OffJTとOJTを使い分けて、効率よく人材育成することについて学びます。	管理者 第一線監督者	1日 (6h)

●研修のセット化が有効かつ、お得です


課題・問題等は、会社全体で一丸となって取り組まれる事が望まれます。研修をセット化し、各階層で職務権限や役割分担に応じた研修をそれぞれに受講し、同じ方向性・言葉で取り組むと効果が倍増します。また、関連するテーマの選択で、展開的に研修を選択することも有効です。

●研修に「自社診断」or「ゼミナール」の付加できます（実践研修）

上記の研修に、研修内容に応じた「自社診断演習」または「ゼミナール(課題研究)演習」を付け加えることができます。学習によるレベルアップと実践効果が得られ、受講者の経営への参画意識、モチベーションなども醸成されます。ご興味ございましたら、お問合せください。

●研修のカスタマイズ、新規作成

研修内容等は、ご要望に応じてカスタマイズが可能な場合がありますので、ご相談ください。上記にない研修でも実施しているものがあります。必要な研修テーマがございましたら、お問合せください。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問合せ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。 [お問合せ]
---	-----------------------------	--

研修のセット化のご提案

1. 研修セットの考え方

■ 経営環境の変化への適応 [今後、変化の幅・速度が大きくなります → 経営の見直しが必要]

近年は社会環境の変化、人の生活習慣の変化、気候変動など、周辺環境は様々な変化をしています。とりわけ経営環境は需要の短命化、多品種少量化、低価格化、高度化、高信頼性・・・など、大きく早い変化が見られます。環境変化への適応により生物が繁栄/絶滅するのと同様に、企業も激しく変化する経営環境に適応することで繁栄し生き残ることができると考えられます。

「強いものや賢い者が生き残れる訳ではない、適応したものが生き残る！」チャールズ・ダーウィン

■ 経営は団体戦

会社経営は役割分担をして戦う団体戦です。企業存続の為には、経営層が変化を察知し、それに応じた経営戦略・計画たて、それを実現するために管理層である フロント、監督・コーチが計画・管理を行い、選手が実務を行う事になります。会社全体で意思統一・連携して 効率よく活動することが 重要なポイントです。しかし、中堅中小製造業では、各階層の役割分担が全うされていないケースがよく見られます。

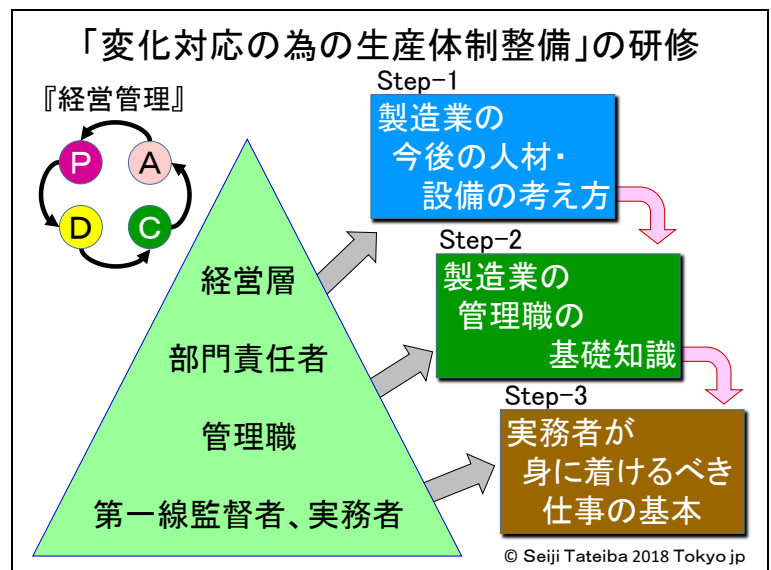
会社経営は、団体戦！ 役割分担して、団体で戦っている！！

■ 会社を変えるなら、トップから実務者まで意思統一！ 「全社で一丸となって変化対応！」

会社は、経営環境の変化に応じて変わることが必要です。会社を変えていくには、トップが考え方を整理し、職制を通じて指導して、全社足並みをそろえて進める必要があります。その為 本来は、経営層が管理層に指導・教育、管理層が実務層に指導・教育する事が理想です。

社内にはない考え方の導入などの場合には、可能ならば、経営層・管理層が社内講師となり、研修を企画し実施する事が理想です。

外部研修を利用されるのであれば、全社の管理体制などを考え、「経営層」→「管理層」→「実務層」の順で、体系的・計画的に受講される事をお勧めします。



外部研修は、「経営層」→「管理層」→「実務層」の順で受講し、共通理解を図ることが望まれます。

■ 研修のセット化のご提案

会社の課題・問題は、職位責任に応じて対応することが必要です。

・・・例えば 現場の実務者が外部教育で学んでも、管理職の理解が得られなければ、実務者は何もできない場合があります。同様に管理職が学んでも経営層の意図が違っていれば、実行できません。

研修は、単体でのご依頼をお受けしておりますが、各階層の研修をセットで実施される事をお勧めします。

社内の各階層で受講する 研修のセット化が 理想です。

お問合せをいただければ、お勧めの研修をセット化してご提案することが可能です。

2. 研修のセット化の例 (研修シリーズの階層連携実施)

経営革新の為に、会社全体で取組む研修セットがお勧めです！

パターン(1) 課題解決・問題解消研修シリーズ

Step-1 「経営課題・問題の解決・管理」	経営層向け研修
Step-2 「課題解決、問題解消、管理の基本」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-3 「製造現場の問題解消」	指導監督者研修 (係長、現場リーダー)

パターン(2) 原価・品質・現場改善

Step-1 「原価管理システムの構築」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-2 「5S とIE改善」	実務者研修 (係長、実務者)
Step-3 「生産管理の基礎」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-4 「QCの基礎」	実務者研修 (係長、現場リーダー、実務者)

パターン(3) ヒューマンエラー、ポカミス研修シリーズ

Step-1 「会社のリスク、ヒューマンエラーマネジメント」	経営層向け研修
Step-2 「ヒューマンエラー、ポカミスの対策と予防」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-3 「実務のエラー、ポカミス対策」	実務者研修 (係長、現場リーダー、実務者)

パターン(4) 機械化・自動化と人材育成

Step-1 「製品戦略と知的資本経営」	経営層実践研修 (経営層、工場長)
Step-2 「機械化・自動化・スマート化と人材育成」	経営層・管理者実践研修 (経営層、工場長、課長)
Step-3 「人材育成・技術技能伝承システム」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-4 「現場力を高めるOJT」	管理職・指導監督者研修 (課長、係長、現場リーダー)

パターン(5) 今後の生産体制整備研修シリーズ

Step-1 「今後の人材・設備の考え方」	経営層・管理者研修 (経営層、工場長、課長)
Step-2 「管理職の基礎知識」	管理者研修 (工場長・管理職)
Step-3 「実務者が身に着けるべき仕事の基本」	管理職・指導監督者研修 (課長、係長、現場リーダー)

※ お会社の事情や意図に応じて、研修をご自由に組み合わせていただいても結構です。
ご相談いただければ対応いたします。

※ お会社の年度末には、経営戦略・計画立案の実践研修で、実際に会社の経営計画・設備計画・人材計画等を立案される場合があります。計画実現のために、経営課題のテーマの研修をセットで実施すると、より効果的です。

[コンサルのつぶやき] 組織的・体系的な取り組みを・・・。


例えば、実務者のポカミスなどを減らすために「実務者研修」を実施することは有効です。

しかし、効果は一時的なものにとどまる可能性があります。

組織として効果を持続させるように取組みたいのであれば、研修は 指導・監督する第一線監督者や管理職が受講し、実務者を教育・指導することが理想かもしれません。

教育の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・実務者には、第一線監督者が指導・監督・OJTする。 ・一線監督者には、管理職が課の仕組みを作り教育・指導する。 ・管理職には、工場長などの部門責任者が、部門の仕組みを作り教育・指導する。 ・工場長などの部門責任者は、経営層が指導する。

・・・のような、組織として 体系的な 取り組みをすることが 望まれます。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問い合わせ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡ください。 [お問合せ]
---	-----------------------------	--

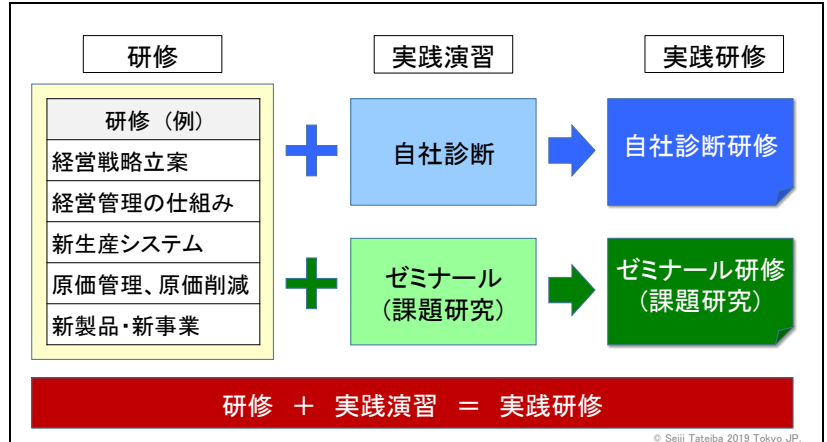
実践研修のご案内

1. 実践研修について

●実践的研修の実現

会社の課題・問題について、理論・方向性を学び、自社の実態に確実に応用することために、自社診断とゼミによる課題研究をとりいれました。

実践研修は、通常の研修に「自社診断」又は「ゼミ活動」を付加した研修です。
研修テーマを選定して、お問合せください。



© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP

●実践研修は、「診断研修」と「ゼミナール研修」の2種類をご用意しております。

意図するところは、次の二点です。

研修と実務・実践の直結

学習と応用により、考える力の醸成

【診断研修】

研修の時間の中で、講義・演習・自社診断演習・グループディスカッションを行います。
自社診断は、研修内容に基づくチェックシートや記入用紙などを使用して行います。
診断結果の内容について、グループディスカッションを行い、問題点などの改善計画などについて検討します。
(テーマによっては、診断研修ができないものもあります)

【ゼミナール研修】

「研修」に「ゼミ」の時間を付加します。
コンサルティングに近い研修です。
研修の時間では講義・演習を、ゼミの時間は課題研究・討議・指導等を行います。
(テーマによっては自社診断も行います)
初回は ゼミはなく宿題の説明を行います。
二回目以降は、研修とゼミを行い、インターバルに行った宿題の結果について、ディスカッションと指導を行います。
最終回には、ゼミの成果として改善案や実施計画をまとめます。まとめ方等については講師がレクチャーします。
必要であれば、オプションで社内発表会を行う事が可能です。

診断研修の要領

研修は、講義・演習と自社診断の作業を行います。
自社診断結果のグループディスカッションにより、改善検討を行います。

イベント		内容
研修	講義	考え方、方法、手順などを学習
	演習	演習や他社事例のケーススタディなどで、方法・手順等を習得
	自社診断	演習のひとつとして、チェックシート等による自社診断を行う 研修と演習の内容を参考にして、自社診断演習を行う 自社診断結果についてグループディスカッションでまとめる

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

ゼミナール研修の要領

研修・ゼミとインターバルの作業を繰り返し、
研修テーマの理解・実践・改善活動を確実にします。
簡易的なコンサルティング支援になります。

イベント		内容
研修日	講義	考え方、方法、手順などの学習
	演習	演習や他社事例のケーススタディなどで、方法・手順等を習得
	ゼミ	研修内容に基づく研究課題の選定・ディスカッション・指導など
インターバル	(宿題) ゼミ内容の調査・研究 (まとめ) 案・計画の作成、報告書・提案書作成	
社内発表	オプションで、社内発表会の開催が可能です。 まとめた計画等を社員に発表し、実行の協力を促します。 発表することで受講者の理解が深まります。	

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

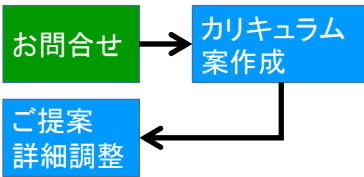
※ お会社の年度末には、経営戦略・計画立案の実践研修で、実際に会社の経営計画・設備計画・人材計画等を立案されることがあります。計画実現のために、経営課題のテーマの研修をセットで実施すると、より効果的です。

2. 実践研修の検討

研修の効果を高める事と、実効性を持たせることを志向されるのであれば、研修の実践研修化がお勧めです。

「研修」の「実践研修化」検討の要領

- まず、研修をご選択ください
- テーマを選択
「研修」を選択 → 研修一覧等
- 実践研修化を検討してください
「研修」に「診断」or「ゼミ」の付加
- 実践研修の付加
「自社診断」
「ゼミナール」 } 選択検討
- お問合せください カリキュラム
案を賛成しご提案いたします



分類 (研修シリーズ)	研修名
経営研修	「経営戦略立案研修」 「経営管理の仕組み」 「経営管理の仕組みの自社診断研修」
成長戦略・製品戦略研修	「成長戦略・製品戦略と知的資本経営」 「新製品・新事業開発研修」
変化対応のための 今後の 生産体制整備研修	「今後の人材・設備の考え方」 「管理職の基礎知識」 「実務者が身に着けるべき仕事の基本」
生産技術研修	「多品種少量対応、フレキシブル生産システム」 「短納期対応のコンカレント生産と在庫削減の考え方」 「機械化・自動化・スマート化と人材育成」
原価マネジメント研修	「製造原価の管理・改善・革新マネジメント」 「原価管理システムの構築」 「儲かる売価、儲ける原価」
生産管理研修	「生産管理システム」 「生産管理の基礎」 「生産管理の考え方」(入門編)
課題問題解決研修	「経営課題・問題の解決・管理」 「課題解決、問題解消、管理の基本」 「製造現場の問題解消」 「生産実務の問題発生防止」(入門編)
現場改善、 IE・QC技法研修	「QCの基礎」 「QCの基礎と自社診断」 「5SとIE改善」
ヒューマンエラー、 ボカミス研修	「会社のリスク、ヒューマンエラーマネジメント」 「ヒューマンエラー、ボカミスの対策と予防」 「実務のエラー、ボカミス対策」
人材育成・技術技能伝承 研修	「人材育成・技術技能伝承システム」 「現場力を高めるOJT」

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

●実践研修の期待効果

実践研修は、研修内容を自社に
応用・実践することを前提としているた
め、通常の研修受講とくらべ人材の
学習効果と実務上の改善定着など
に大きな利点があります。

研修と実務の直結

学習と応用により考える力の醸成

- …により、人材育成効果と改善効
果がえられます。
- 研修のより深い理解と学習内容の
定着化
- チームワーク、組織管理力の向上
- 実践力向上による実務の成果
… など

3. 実践研修のセット化の例

実践研修で、さらに高い効果を得るには、複数の実践研修を組合せ、セット化して、各階層で受講することが有効かつお得です。

パターン(1) 課題解決・問題解消研修シリーズ

Step-1 「経営課題・問題の解決・管理」 【ゼミ研修】 → 発表会	経営層向け研修
Step-2 「課題解決、問題解消、管理の基本」 【診断研修】	管理者研修 (工場長・課長)
Step-3 「製造現場の問題解消」	指導監督者研修 (係長、現場リーダー)


パターン(2) 機械化・自動化と人材育成


Step-1 「製品戦略と知的資本経営」 【ゼミ研修】	経営層実践研修 (経営層、工場長)
Step-2 「機械化・自動化・スマート化と人材育成」 【ゼミ研修】	経営層・管理者研修 (経営層、工場長、課長)
Step-3 「人材育成・技術技能伝承システム」 【ゼミ研修】	管理者研修 (工場長・課長)
Step-4 「現場力を高めるOJT」	管理職・指導監督者研修 (課長、係長)

パターン(3) 今後の生産体制整備研修シリーズ

Step-1 「今後の人材・設備の考え方」 【ゼミ研修】 → 発表会	経営層・管理者研修 (経営層、工場長、課長)
Step-2 「管理職の基礎知識」 【診断研修】	管理者研修 (工場長・課長)
Step-3 「実務者が身に着けるべき仕事の基本」	管理職・指導監督者研修 (課長、係長)

※ お会社の事情や意図に応じて、研修をご自由に組み合わせさせていただいて結構です。
ご相談いただければ対応いたします。

	株式会社IMEコンサルティング 東京都大田区蒲田	お問い合わせ、ご相談等は、弊社ホームページのお問合せよりご連絡く ださい。 [お問合せ]
---	-----------------------------	--

 [ai emú i:]	株式会社 IMEコンサルティング	東京都大田区蒲田 http://www.ime-net.com https://www.facebook.com/IMEconsulting/
--	-------------------------	--

■会社概要

株式会社IMEコンサルティングは、経営・管理の技術開発を行い、製造業を中心とした企業様に、コンサルティングや研修などを通じて経営支援をさせていただいております。

業務開始 1991年3月1日 (日本能率協会を通じて)
 創業年月日 1998年8月1日 (直接受注開始)
 設立年月日 2001年7月3日 (株式会社登記)
 設立会社名 株式会社 IMEコンサルティング
 所在地 東京都大田区蒲田
 代表取締役 立居場誠治
 資本金 1千万円



東京商工会議所会員
 蒲田法人会会員
 日本能率協会講師
 中小企業大学校講師



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・診断システム
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・新製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築 (経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・機械化・自動化・スマート化
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理 (IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理 (工数設備効率、品質コスト)

IMEでは、日本能率協会、中小企業大学校等に、カリキュラム、テキスト、資料等の提供、講師派遣などを行っております。

■講師プロフィール

株式会社 IMEコンサルティング
 代表取締役 立居場 誠治 (たていば せいじ)

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。

その後、1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等を行い、1998年に独立し、現在に至る。

製造業のコンサルティングを中心とし、経営戦略立案、新製品・新事業開拓、原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。

著書 『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会)
 『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』(コンテンツ堂) など



■研修実施の要領

弊社の各種プログラムを、御社ご指定の場所で研修いたします。

研修プログラムは、ある程度のカスタマイズは可能です。また、新規作成も可能です。

なお、社内研修は、外部研修と比べ、多くの人材が同時に同じ研修を受講し、学ぶことが可能なため、共通の認識・理解が得られ、以降の各種活動がスムーズになる効果があります。

※ 全国各地に出講いたします。(出講した都道府県)

北海道、秋田、岩手、福島、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、山梨、静岡、愛知、富山、石川、福井、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

以上 [\[お問合せ\]](#)